

徳島で 「教員」になろう!

徳島県公立学校教員採用案内



徳島県教育委員会

徳島ならではの！ 教師の「魅力」



あなたの一言がきっかけで



世界にはばたく人がいる

あなたの一言がきっかけで



挑戦できる人がいる

あなたの言葉は



幼い心に刻まれる

あなたの言葉は



時間をかけて花を咲かせる

あなたの言葉は



いつしか人生の支えになる

徳島の未来を担う



子どもたちのために

働き方改革の推進！

やりがいや充実につながる職場環境！

- 「とくしまの学校における働き方改革プラン」に基づき、働き方改革を推進！
- 外部人材(学習指導員、スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員、スクールカウンセラー等)の配置で教師の業務負担を軽減！
- 在校等時間の縮減によるワークライフバランスの実現をめざす！
- 「仕事にやりがいを感じる」との初任者の回答約85%！
※R5年度初任者に対するアンケートより

教師としてはじめの一步をサポート！

学校全体で若手教師を育成！

- 「徳島教員すだち塾」で、学校現場でのインターンシップ研修や採用前研修等を実施！
先輩教職員や同期採用予定者との交流で採用前の不安を解消！
- 全教職員で若手教師を育てる「徳島型メンター制度」を導入！
先輩(メンター)と後輩(メンティ)でチームを組織！
若手教師の悩みや課題を解決！

充実したキャリアパス！

徳島県独自の教員研修制度や 大学院派遣制度！

- キャリアステージに沿った研修体系を構築！
- 鳴門教育大学大学院へ現職教員を有給で毎年派遣！
- 教職員支援機構・鳴門教育大学センターとの提携！



徳島県教育委員会教職員課 X(旧Twitter)で
「徳島の教員を知ろう/バトンリレー」を発信中！
現職の徳島県の教員が教師の魅力を紹介しています



A.絶対、また体育教師になります。

写真は「徳島県教育委員会
作成PR動画」より



先輩からのメッセージ

Message

私が思う教師の素敵なおとこ

松茂町立松茂小学校 最相芳基

私は「子どもが好き」で、「だれかの役に立ちたい」という思いをもってこの職業につきました。仕事の価値観は人それぞれですが、私自身が考える仕事のやりがいとは、「自分という一人の間人、社会や人の役に立っている」ということです。こんな自分でもだれかの役に立っているということ強く実感できるのが「教師」という職業だと思えます。

また、「教師」は自分自身や家族を大切にしたいと願う方にとって素敵なおとこです。特に小学校では、長期休業中にまとまった休暇を取ることができます。また、産休・育休の取得に対して積極的にサポートしようとする温かい雰囲気があります。このような子育てに前向きな職場の雰囲気は、教師の大きなメリットの1つです。自分の家庭を一番に考えながら、のびのびと働ける環境がここ徳島にはあります。

- 受審者の皆さんへ -

教師を目指す方の中には、「自分がこの仕事に向いているかわからない。自信がない。」という方もいらっしゃると思います。私自身もそう感じていました。しかし、何よりも大切なことは、「子どもが好き」ということだと思います。私も子どもたちの笑顔や先輩方の優しさに支えられてがんばっています。



一人一人を輝く「人財」に…

鳴門市第二中学校 川口七海

中学校の時の恩師に憧れ、中学校教員を志しました。大学入学を機に暮らしはじめた徳島県で採用していただき、夢が叶った感謝の気持ちで毎日教壇に立っています。自分が生徒だった頃とは違うことがたくさんあり、授業や生徒指導などでうまくいかないことも多くあります。

しかし、そんな時は経験豊富な先生方が、ご自身の授業を参観させていただいたり、私の授業を参観して導いてくださったりします。そして、好奇心いっぱいの元気な生徒たちが、その明るさで私の悩みを吹き飛ばしてくれます。授業で音楽に興味を持ち、熱心に活動に取り組んでくれる姿には、感動します。これからも初心を忘れず、生徒と学び、成長し、一人一人を輝く「人財」に育てられる教師を目指していきます。

- 受審者の皆さんへ -

自分に負けそうな時は、「先生」と呼ばれる自分の姿を思い描き、「今、頑張らなければ」と気合いを入れていました。教壇に立つ自分の姿を想像し、熱意と誠意を持って取り組み、きつと夢は叶います。共に徳島県で教員として働けることを願っています。



熱意と情熱を力に

徳島県立城東高等学校 黒川粧子

前職は客室乗務員、退職後は米国で教員をしていました。これらの経験を徳島県の教育に生かしたいと考え、社会人を対象とした特別選考枠の採用試験に挑戦しました。

教員としての幸せは、生徒に内在している個々の可能性を見出し、目標に向かって生き生きと頑張る姿をサポートできることです。それぞれの才能が芽吹き開花する、輝かしい未来を実現させたいという想いが、私を支えています。

そこに至るまでには、生徒に寄り添い、理解を深めることが大切ですが、その方法や工夫等を得ることができる初任者研修や徳島型メンター制度等の丁寧なバックアップがあるので安心です。

生徒の「夢や未来を応援する」ために、情熱と熱意あふれる教員を目指したいと思えます。

- 受審者の皆さんへ -

教師になりたいという意欲と熱意が本物なら、きっと夢を実現できると思います。面接準備などで不安になることもあるかと思いますが、採用試験に関わってくださる全ての方々への感謝と敬意を忘れず、前向きに、そして、自信を持ってチャレンジしてください。



かけがえのない一瞬を大切に

徳島県立板野支援学校 山本和馬

つい一昨年3月まで学生だった私が、教師として働き始めて早くも二年が経ちました。

教師のやりがいは、やはり子どもが成長する瞬間に立ち会えることです。特別支援学校の子どもたちは、一年かけて一つのことができるようになることもあります。そこまでは、「本当にこれで大丈夫か」と不安になることもあります。その分、できた時の喜びは、言葉では言い表せません。

子どもたちの成長は、これまでの学校生活や家庭生活等で経験してきた様々なことが種となり栄養となり、実となったものであると感じています。私の授業も栄養となるよう、日々手を変え品を変え取り組んでいます。それが教師の面白さでもあり、やりがいでもあります。

- 受審者の皆さんへ -

採用試験の勉強中は、自分が教師になるイメージが持てませんでした。それは、試験後に教育実習があり、しかもコロナの影響でオンライン実習だったためです。しかし、それでも「とにかくやってみよう!」という気持ちで受審しました。その時の自分が何とかしてくれると信じ、思い切って採用試験にチャレンジしてみてください。皆さんと共に学べる日を心から楽しみにしています。



採用までのスケジュール 令和7年度 採用審査

願書受付

5月9日(木)
~27日(月)

第1次審査

7月20日(土)
21日(日)

第1次審査
結果発表

8月5日(月)

第2次審査

8月16日(金)
~23日(金)

第2次審査
結果発表

9月18日(水)

配属先決定

令和7年
3月下旬

採用

令和7年
4月1日

※ 秋選考(UIJ特別選考)は10月中旬~11月上旬に実施予定。

(1) 小学校教諭選考審査における英語力の評価方法の重点化

英語の実技審査を廃止し、
模擬授業の教科を外国語(英語)に指定。

(2) 本県出身者等の徳島回帰促進と高い専門性のある人材の獲得のため、秋選考(UIJ特別選考)の拡充。

※詳細は令和7年度UIJ特別選考要項で公表(8月予定)

令和6年度 採用審査の受審・合格状況

校種	教科	受審者数	採用候補者名簿登録者数		
			A	B	
中学校	小学校	323	83	13	
	国語	31	6	1	
	社会	46	7		
	数学	43	6	1	
	理科	20	5		
	音楽	13	3		
	美術	1	1		
	保健体育	59	7	1	
	技術	5	1		
	家庭	7	1		
英語	31	6	3		
計		256	43	6	
高等学校	国語	27	4	1	
	地歴	28	3	1	
	公民	9	1	1	
	数学	44	4	1	
	理科	物理	7	1	1
		化学	7	2	
		生物	17	1	2
	地学	2	1		
	保健体育	64	3		
	音楽	9	1		
	美術	4	1		
	書道	9	1		
	英語	25	3	2	
	家庭	3	1		
	情報	10	2		
	農業	4	2		
	工業	機械	1	1	
		電気	1	1	
		建築			
		土木	3	1	1
	工業デザイン	2			
	工業化学	1	1		
	商業	10	2	1	
看護					
福祉	2	1			
計		289	38	11	
特別支援学校	視覚障がい(小)	1	1		
	視覚障がい(中高)				
	聴覚障がい(小)				
	聴覚障がい(中高)				
	知的病弱(小)	19	9		
	知的病弱(中高)	17	6		
	医療的ケア	6	2	1	
計		43	18	1	
小中養護教諭		80	2	3	
高特支養護教諭		26	2	1	
小中栄養教諭		17	1	2	
障がい者特別選考	中学校	1			
	高等学校	1			
	知的病弱(中高)	1			
総計		1,037	187	37	

(注) A…令和6年度4月1日に教諭として採用予定
B…欠員状況等により採用予定



+ Plus.1 more!

徳島県が目指す教育について

個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」の育成

個性と国際性に富み、大きな夢や高い目標を持って、自らの可能性を高め、主体的に未来を切り拓くために果敢に挑戦する力を育む「徳島ならではの」教育により、本県の宝である「人財」の育成を目指します。

徳島県の公立学校数について (令和5年5月1日現在)

校種	学校数	児童・生徒数	教員数
小学校	161(1)	31,995	2,920
中学校	79(2)	16,313	1,623
高等学校	28(5)	15,347	1,452
中等教育学校	1(0)	815	73
特別支援学校	9(2)	958	694

※令和5年度 徳島県「教育便覧」より
※()内は分校数で外数 ※教員数は本務教員数の合計数

新規採用者の給料について (令和5年度実績)

小中学校	大学卒	226,100
	短大卒	206,100
県立学校	大学卒	226,100
	短大卒	203,000

※上記の額は、大学または短大卒業後すぐ採用された場合の基準です。
なお、採用までに職歴のある方は、その内容・期間に応じて初任給が決定されます。
※この給料のほかに、教職調整額及び教員特別手当が支給されます。
また、地域、通勤、扶養、住居、へき地、期末、勤勉等の諸手当が支給されます。

休暇について

- ①年次有給休暇 …… 1年で20日(繰り越し最大20日)
※毎年9月1日に新たに付与されるので、夏休み中に余っている年次有給休暇を使うことができます。
- ②育児休業 …… 子供が3才になるまで取得可
- ③特別休暇 …… 分娩(産前産後)、子の疾病看護、忌引き、ボランティア、リフレッシュ、夏休など、別途に定めた様々なケースで有給休暇を取得可
- ④病氣休暇 …… 90日(特定疾患の場合は180日)

徳島の未来を担う子どもたちのために、あなたの力を待っています。

